

大神地区社会福祉協議会
視察研修に参加して

一般福祉部
深石 正躬

平成二十年度事業計画に基づき十一月二十七日(木)社協役員、委員等による総勢三十四名の参加を得て、静岡県富士宮市内の盲導犬の里「富士ハーネス」(日本盲導犬総合センター)の研修が実施されました。目の見えない人、目の見えにくい人が、行きたい時に、行きたい場所へ、安全に行くことができる為に、盲導犬は大切なパートナーです。現在盲導犬を必要としている人(約七八〇〇人)、現在活躍している盲導犬(約九八〇頭)と非常に少ない状況です。

施設は、子犬の繁殖、盲導犬候補の犬の訓練、引退犬たちが暮らす「盲導犬の里」です。センターでは、盲導犬にむいている性格か、健康状態を確認後盲導犬としての訓練が始まる。毎日の基本訓練、段差の訓練、高

さを知る訓練・・・等、出来たら誉めるを繰り返し、犬が楽しく理解できるように訓練がされていきました。施設を視察して、盲導犬や視覚障害について理解を深めることができました。



祝 大神公園

大神地区社会福祉協議会
会長 青木 修

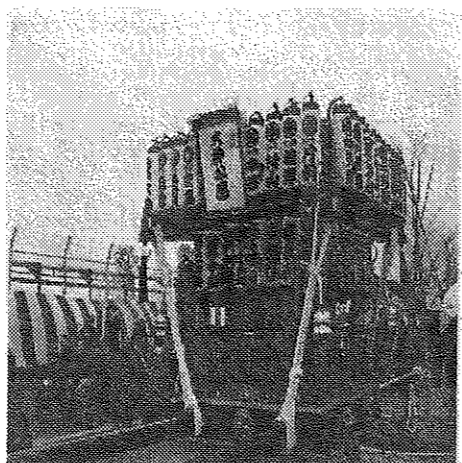
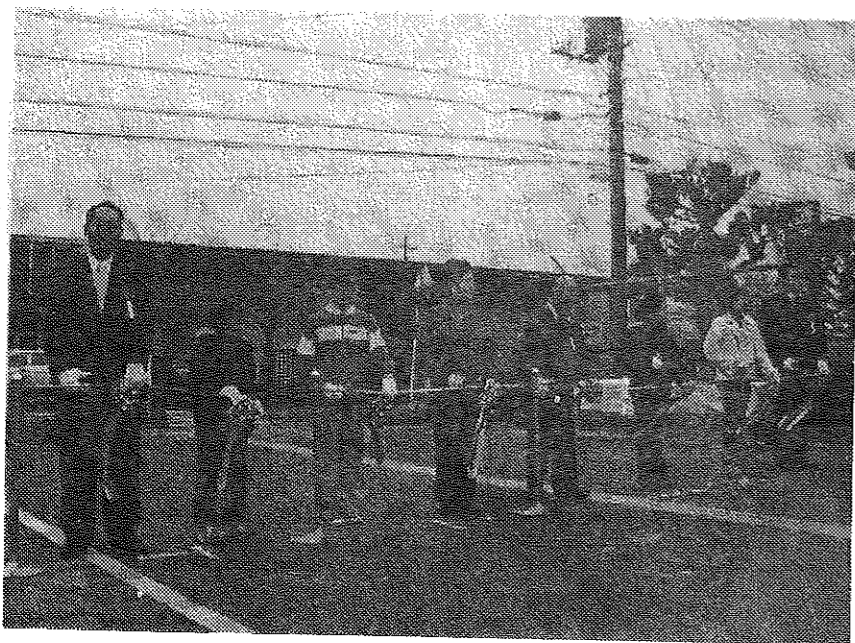
とても寒い三月一日大神公園の開園を記念して開園式が執り行われました。

当日は、大蔵律子市長挨拶を初め、山王丸大神自治連合会長、相模小学校の生徒によるテープカットで始まり、記念の花植え・植樹、また大神寄木神社御興保存会による万灯御興の披露や、子供さん達にお菓子の配布、来園者にお汁粉を食べて頂きました。

大神公園は大きく分けて、遊具ゾーン、広場ゾーン、エントラスゾーンの三つに分けた公園に整備されました。遊具ゾーンにつきましては、複合遊具、小さいお子さん用の滑り台、砂場には抗菌砂が使用されています。広場ゾーンにつきましては、植栽を取り除き学校の校庭のようなものになりました。中央のケヤキは残して小さいお子さんも遊べるように広場も二つに分けてあります。エントラスゾーンにつきましては、入り口に小庭園を設置し、また新し

く東屋と男女別のトイレを設置してあります。

この公園は、国のバリアフリー支援事業として実施しており、園内に点字ブロックを設置したり、また段差の少ない公園となっております。これからも大勢の地域の皆様方に愛される公園になることと思えます。



盲導犬の里：富士ハーネス

朗報

ボランティア表彰
社会福祉協議会会長感謝受賞者(盾)が大神地区にて二人が受賞されました
片野加代子さん、浅原礼子さんです

おめでとうございます
これからもよろしくお願いたします

